3　液状化対策の取組　公道と宅地を含めた面的な液状化対策

第６回　新潟市復旧・復興推進本部会議
資料７－１　　令和７年１月１４日

今後の予定について

現在

検討会議　12月24日開催　※液状化地域を６つのタイプに分類

◇調査（ボーリング調査・地下水位調査・他）
◇解析業務

R7年度

◇【学術的】な液状化対策の方向性のまとめ（夏頃目標）
➡解析結果に基づく対策の課題や適応可能工法案のまとめ
（大まかなエリア単位➡　液状化地域の６分類他、総合的に判断）

◇【土木技術的】検討
➡工事施工の実現性について検討

◇液状化対策【候補地】の絞り込み（学術的＋土木技術的）

◇【実証実験】（※試験施工）

◇液状化対策【実施候補地】の絞り込み
（学術的＋土木技術的＋実証実験）

R8年度以降

◇【地元意向確認】（実施候補地の絞り込み完了地区から順次）

◇液状化対策【実施箇所】の選定
（学術的＋土木技術的＋実証実験＋地元意向）

◇詳細設計

◇工事着手

※適宜、「検討会議」「地元説明会」を開催
※検討過程で見直しする可能性があります

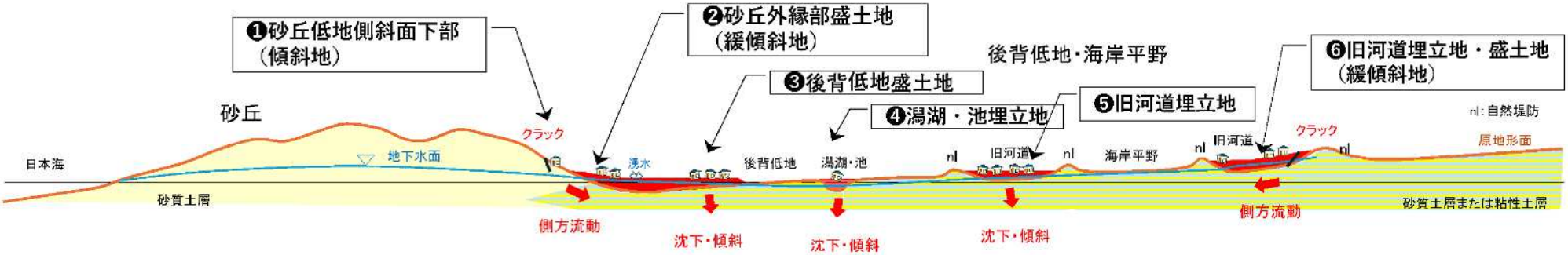
3　液状化対策の取組　公道と宅地を含めた面的な液状化対策

第６回　新潟市復旧・復興推進本部会議
資料７－２　　令和７年１月１４日

◆液状化地域を、地形および土地利用履歴により６つのタイプに分類

新潟市液状化地域の分類※

地形分類	No.	土地利用の履歴	発生した被害現象（●顕著） 噴砂	家屋沈下	盤膨れ	陥没	クラック	側方移動	リッジ	ラップ	主な被災地	地形勾配	地下水位（GL -m）	地盤変状
砂丘	❶	砂丘低地側斜面下部	○	○	○		●	●	●	●	青山～大野	傾斜	0～１m	側方流動
後背低地・海岸平野	❷	砂丘外縁部盛土地	●	●	●	○	●	●	●	●	青山、小針、寺尾朝日通ほか	緩傾斜	0～１m	沈下・側方流動
	❸	後背低地盛土地	○	●	●		○				青山、小針南、寺尾前通、寺尾東、坂井東ほか	平坦	0～１m	沈下・傾斜
	❹	潟湖・池埋立地	●	●	●		○				鳥屋野球場周辺ほか（西郵便局）	平坦	0～１m	沈下・傾斜
	❺	旧河道埋立地	●	●	●	●	●				善久～ときめき、天野ほか	平坦	0～１m	沈下・傾斜
	❻	旧河道埋立地・盛土地	●		●	●	●	●	●	○	鳥原、善久、天野の西端	緩傾斜	1～2m	側方流動



新潟市液状化地域の分類模式図※

資料提供：株式会社興和

※上記範囲は、対策実施地を確定するものではありません。

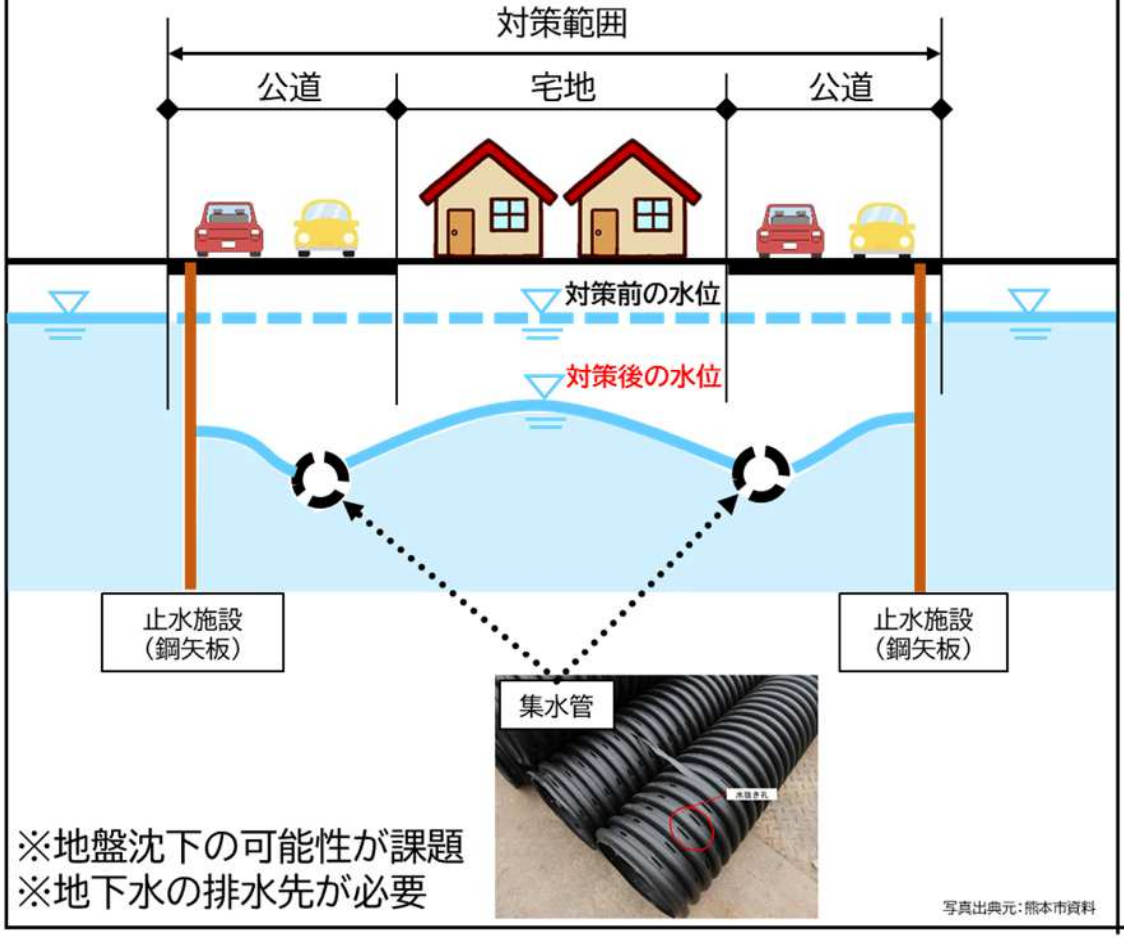
3　液状化対策の取組　公道と宅地を含めた面的な液状化対策

第６回　新潟市復旧・復興推進本部会議
資料７－３　　令和７年１月１４日

液状化対策工法について

地下水位低下工法

地下水位を低下させることで、液状化を抑える工法

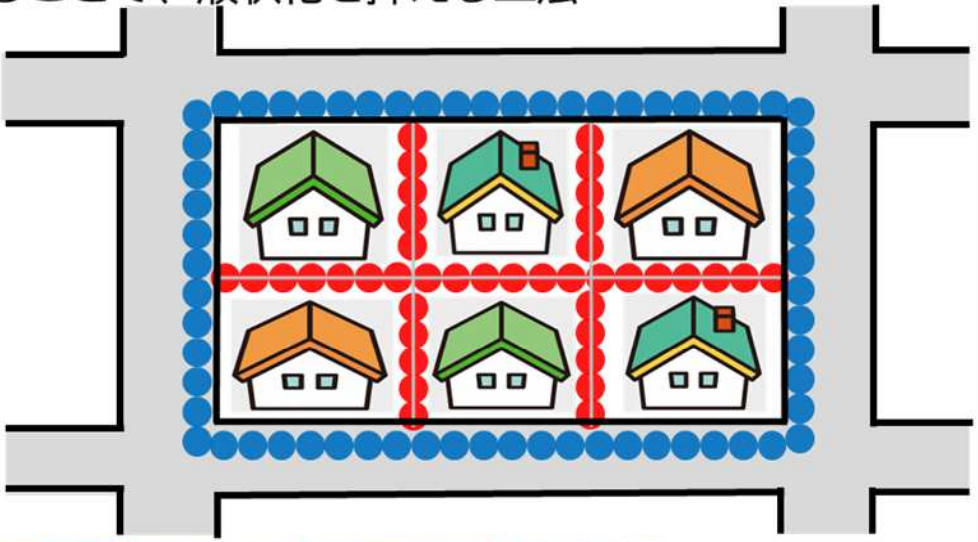


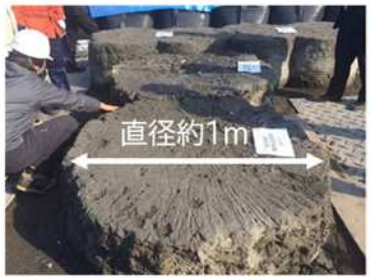
※地盤沈下の可能性が課題
※地下水の排水先が必要

写真出典元：熊本市資料

格子状地中壁工法

地中にコンクリートの壁を作り、地盤の変形を防止することで、液状化を抑える工法





コンクリート壁
- 宅地部分
- 公道部分

※宅地内にもコンクリートの壁を作る必要がある

写真出典元：浦安市資料